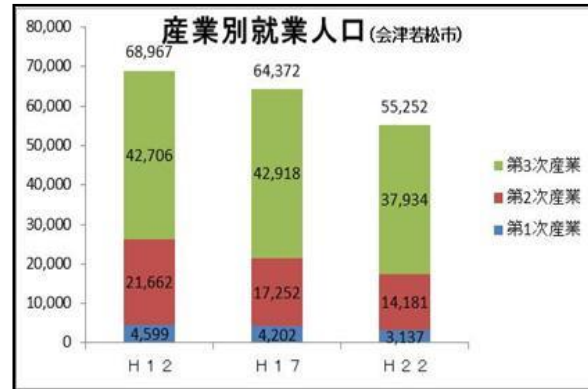


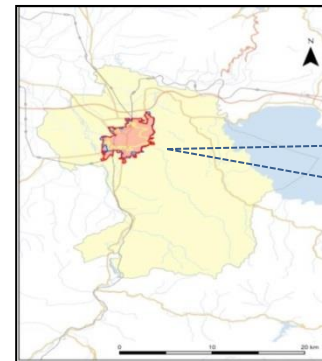
【資料3】

会津若松市について

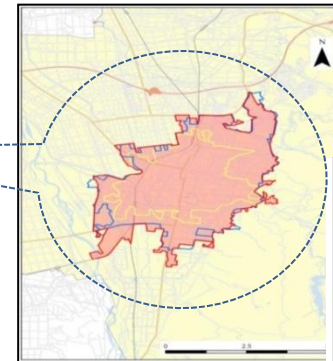
<人口>



<DID地区の推移> (広域)



(狭域)



出典: 国勢調査より
日本経済研究所
で作成

年次	人口集中地区		
	人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
昭和45年	67,824	7.8	8,695.4
平成2年	91,217	14.9	6,121.9
平成22年	88,013	16.7	5,270.2

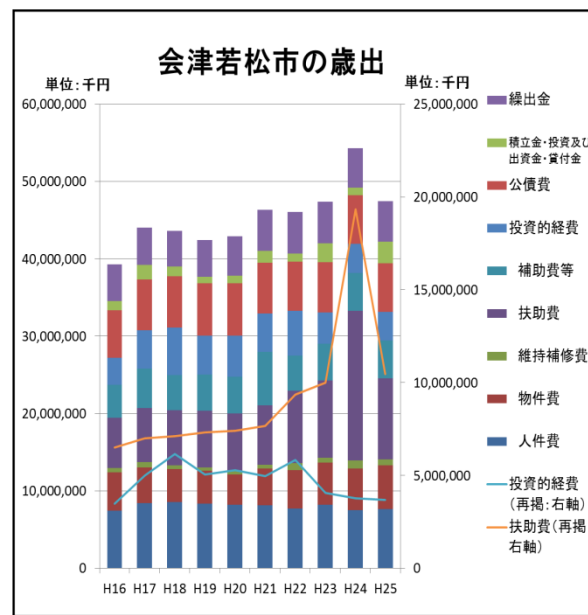
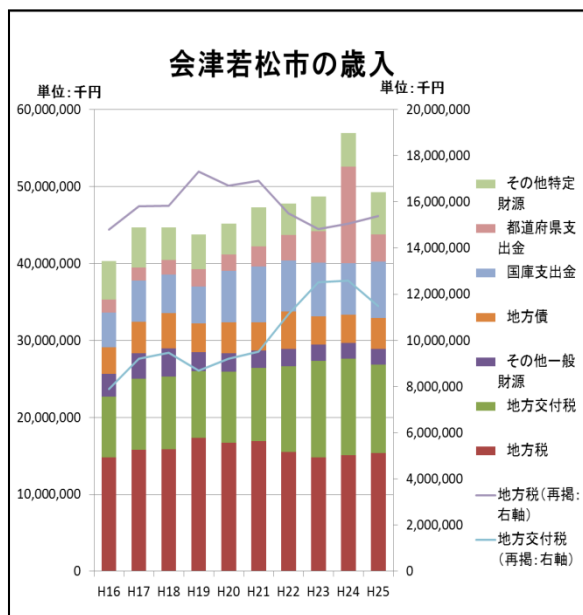
<国勢調査より>

- 会津若松市の人口は、10年で約1万人減少しています。人口構成を見ると、老年人口は約4600人増加しているものの、15～64歳の生産年齢人口が1万人減少、15歳未満も5千人減少しています。
- 会津若松市の産業別就業人口は、10年で1.3万人減少しています。全産業で減少していますが、第二次産業は10年間で2/3になっています。

<DID-国勢調査より>

会津若松市におけるDID地区(人口集中地区)の推移を見ると、昭和45年から平成2年にかけて、DID地区の面積は1.9倍と大きく拡大し、DID地区人口も1.3倍に増加している。平成2年から平成22年にかけては、DID地区の面積は1.1倍に拡大しているが、DID地区人口は約3,200人減少している。

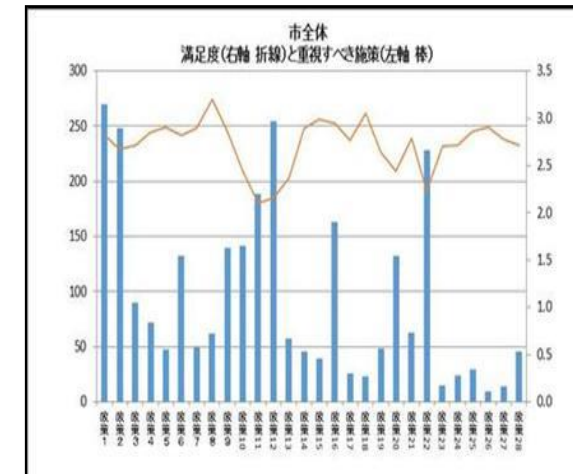
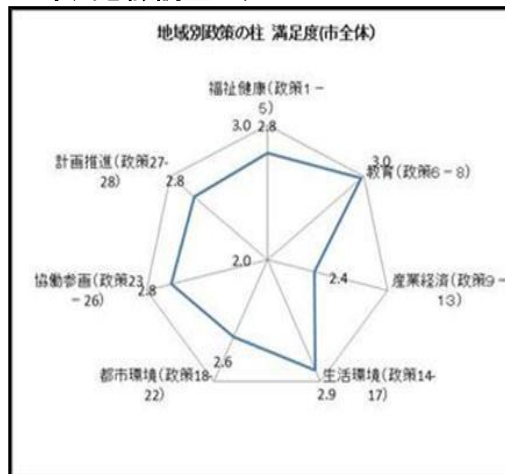
<財政>



<市の財政>

- この10年間の市の財政規模は、約400億円から約500億円へと拡大傾向となっています。
- 歳入では、地方税収入が伸び悩んでいます。
- 歳出では、扶助費が増加傾向であり、投資的経費などは減少傾向となっています。

<市民意識調査より>



- 会津若松市では、教育分野、生活環境分野の政策に対する満足度が高く、産業経済分野、都市環境分野の政策に対する満足度が低くなっています。
- 重視すべきと考えられている政策は、子育て、高齢者対策、雇用の安定、雪対策となっています。
- 雇用安定、雪対策は重視すべきと考えられていますが、満足度が低くなっています。

福祉健康	政策1) 子育てしやすいまちをつくる 政策2) 高齢者が元気にくらすまちをつくる 政策3) 自立と社会参加を推進するまちをつくる 政策4) 健康づくりが充実したまちをつくる 政策5) 誰もが生涯にわたり学習できるまちをつくる
教育	政策6) 豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育てるまちをつくる 政策7) スポーツ・レクリエーションが盛んなまちをつくる 政策8) 歴史・文化を守り育てるまちをつくる
産業経済	政策9) 観光を振興し活気のあるまちをつくる 政策10) 商工業を振興し経済活力あふれるまちをつくる 政策11) 中心市街地を活性化し賑わいのあるまちをつくる 政策12) 雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる 政策13) 生産性の高い農業がいきづまちをつくる
生活環境	政策14) 環境と調和した地球にやさしいまちをつくる 政策15) 環境への負荷が少ないまちをつくる 政策16) 安全で安心できるまちをつくる 政策17) 情報化の進んだまちをつくる
都市環境	政策18) 花と緑にあふれるまちをつくる 政策19) 快適な都市空間が形成されたまちをつくる 政策20) 都市交通対策が進んだまちをつくる 政策21) 身近な住環境が整備されたまちをつくる 政策22) 雪に強いまちをつくる
協働参画	政策23) ユニバーサルデザインによるやさしいまちをつくる 政策24) 男女がともに自立して尊重しあうまちをつくる 政策25) 市民活動が活発なまちをつくる 政策26) 連携と交流が盛んなまちをつくる
計画推進	政策27) 評価システムによる行政運営を行う 政策28) 効率的で効果的な行政運営を行う

